

令和7年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特3		学校名	県立霞ヶ浦聾学校										学校長名	佐藤 教子			
副校長名						教頭名	豊崎 修敬					事務(室)長名	梅澤 美由紀					
教職員数	教諭	25	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	3	実習助手	0	寄宿舎指導員	0	事務職員	2	技術職員等	9	計	49
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	幼稚部	1	1	2	0	4	6							7	7	6		
	小学部	2	0	3	2	1	2	1	1	0	0	3	1	10	6	8		
	中学部	1	1	2	0	0	0							3	1	2		
	高等部																	
	専攻科																	
														小計	20	14	16	
														合計	34			

2 目指す学校像

- ◆安全・安心な環境のもと、楽しく元気に学べる学校
- ◆一人一人の学びを大切に、豊かなコミュニケーションと日本語の力を育み、生きる力を育てる学校
- ◆幼児児童生徒、教職員みんなが自信と誇りをもてる学校
- ◆保護者、社会、関係者と共に歩む開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時のマニュアルの周知と対応力の強化 ・地域への本校の情報発信の強化 ・コンプライアンス・マニュアルの見直しと活用推進 ・働き方改革のセルフプロデュース力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時訓練（防災・不審者など）における聴覚に障害のある人が視覚的にわかるような整備 ・幼児児童生徒が直接参加できる情報発信の場の確保 ・学校全体でのコンプライアンスに関する研修の実施 ・働き方と業務改善にむけた検討
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教科学習等を支える言語力、思考力の育成 ・専門性向上のため教員同士の授業参観の実施 ・実態に応じた ICT の活用推進と支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究にからめた授業づくりの推進 ・相互に授業参観ができる環境づくり ・言語力を育むための基礎的な内容について ICT の効果的な活用

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 健康・安全に生活する力の向上を図るとともに、体験活動を通じた豊かな人間性の育成に努める。 2 幼稚部、小学部、中学部の系統性のある一貫した教育を推進する。学びの芽生えを育み、自ら主体的に学ぶ態度を育成し、基礎・基本の定着と確かな学力の向上を図る。 3 聴覚活用や多感覚を活用を促し、確かな言語発達と豊かなコミュニケーション力の伸長を図る。 4 保護者、地域、関係機関との連携を密にし、教育実践の深化を図るとともに安全安心で信頼される学校づくりを推進する。 5 関係機関や地域の幼児教育施設・小・中・高等学校等への専門性を活かした支援の充実を図る。 6 教師が意欲的に研究修養に励み、自らの指導力・専門性の向上に努め、確実に継承する。 7 服務規律の確保とコンプライアンス意識の向上、よりよいワーク・ライフ・バランスを意識した働き方に努め、生き生きとした姿を幼児児童生徒に示し、幼児児童生徒のキャリア発達に寄与する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
安全安心な学校づくりと健康で豊かな心の育成	①安心安全な教育環境の整備 【危機管理】【コンプライアンスの確保】 ②自ら健康・安全に生活する力の向上（健康教育、防災教育）【自己管理能力の育成】 ③信頼し絆を深める人間関係づくりの推進 【豊かな心の育成】
聾教育の専門性の向上	①個に応じたコミュニケーション手段の活用の推進【伝え合い分かり合う喜び】 ②日本語による「読み」「書き」能力の向上 【確かな日本語の習得】 ③情報を正しく理解し、適切に表現する力の育成【豊かな表現力の育成】
確かな学力の向上を目指す授業づくり	①専門家と連携した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善【子どもの学びの充実】 ②教科学習を支える言語力、思考力の育成【確かな学力の向上】 ③個別最適な学びを重視した学習場面に応じた効果的なICT活用の推進 【ICT活用】
センター的機能の充実と地域の連携	①早期教育相談、通級指導教室の充実 【聴覚障害教育の保障】 ②幼児教育施設、小・中学校等に在籍する聴覚障害児や担当教員への支援 【専門性を活かした支援】 ③きこえとことばの相談支援センターの役割の強化【センター的機能の強化】 ④地域との連携強化（コミュニティスクール、地域連携充実事業など）【地域との連携強化】
自立と社会参加に向けたキャリア教育	①発達段階に応じた基本的生活習慣の確立【個に応じた支援】 ②各部の系統性を踏まえたキャリア教育の推進【系統的なキャリア教育の実施】 ③進路選択に向けた体験的な学習の充実と実践【キャリア教育の充実】 ④交流及び共同学習の推進【豊かな人間性の育成】 ⑤教員のワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の推進（働くことの楽しさや喜びを幼児児童生徒に示す）【働き方改革】